

おおさき100km徒歩の旅へ、学生の皆さんの力を貸して下さい!

私達は“おおさき100km徒歩の旅”を通じて、子供達が自らを律して100kmを歩き抜く逞しい心と体、仲間を思いやる優しさ、そして心に残る貴重な思い出を作ってあげたいと思っています。その為には皆さんの力が必要です。

子ども達を安全に楽しく導いていくための種々のボランティア研修会、“チーム”としての団結力、融和を育むための合宿研修などを行って当日まで準備をしていきます。

私達はボランティアとして参加される皆さんにとっても“大きな達成感”と一生を通じた“仲間”を作って頂きたいと思っています。多くの方々のご参加をお待ちしております。どうぞ宜しくお願い致します。

おおさき100km徒歩の旅 団長・門脇基 実行委員会一同

過去の学生スタッフ在籍学校（毎年多くの学校から多くの学生の方々がスタッフとして参加しています。）

黎明高校・岩出山高校・中新田高校・古川高校・古川学園高校・古川工業高校

涌谷高校・小牛田農林高校・仙台育英高校・加美農業高校

誠真短期大学・尚綱短期大学・石巻専修大学・東北大学・宮城教育大学・宮城学院大学

東北福祉大学・東北学院大学・東北文化学園・仙台幼児保育専門学校・仙台医療秘書福祉専門学校…など



古川黎明高校 石塚立樹
自発的な行動の大切さを学びました。スムーズに事を進行するには、与えられた仕事をするだけでは足りない。自発的行動によって計画を実行することができ、信頼を得ることもできる。大切な事を学んだかけがえのない夏でした。



東北福祉大学 板垣恵美
子どもたちの5日間での成長を近くで見ている、沢山感動させられました。普段当たり前になっている周りへの感謝を改めて感じ、最高の仲間と出会えるこの事業は本当に凄いものだと思います。



東北福祉大学 森 健
100km徒歩の旅は、単に歩いて終わるものではなく、たくさんの人との関わりの中で、自分を見つめ直す旅・未知の自分と出会える旅でもあります。ここで得た経験や仲間は、一生の宝物です。

09年は約50名の学生スタッフの皆さんが素晴らしい体験をされました。



東北福祉大学 桂 万梨恵
この旅ではたくさんの出会い、学び、そして成長がありました。また、子供達の言葉、笑顔が私達スタッフにとって一番のパワーです！100kmにはここでしか出来ない経験、出会いがたくさんあると思います！



南吉成児童館 齊藤貴之
この旅で、身の回りの方の存在の大切さに気付きました。一人ではできないことも、仲間と一緒にできる。100kmで出会った子ども達やスタッフが今でも、これからも私の心の支えであり、最高の仲間です。

この体験はきっと皆さんのかけがえのない財産となることでしょう!

学生の皆さん、社会はこんな人を求めています。そしてここにはその全てが凝縮されています。

- 公（社会）の中の一員である自覚を持ち、仲間とのコミュニケーション能力が高い人。
- 仕事も一生懸命やり、社会貢献（ボランティア）なども積極的に出来る心豊かな人材。
- チームを取りまとめ、牽引する力、リーダーシップが発揮できる人
- 指示待ち人間ではなく、何事も自ら積極的に取り組む人
- 創造力豊かで、ビジョンや目標を描く事が出来、新しい発想やアイデアを提案できる人。
- 表現力豊かな人。いつも活き活きと自分を表現できる人。

おおさき100km徒歩の旅 参加者・保護者の声

参加者より

・5日間短かったけど、みんながやさしくしてくれたから楽しくできたよ！今年の1番の思い出は、おおさき100km徒歩の旅だよ！歩くのは苦しかったけど、みんなといた時間は、とーても楽しかったよ！はなれるのは、すごーいさみしい。いままでみんなありがとう。
・ぼくが泣いてもみんなまってくれたり、はげましてくれて、うれしかった。

保護者より

・親が口うるさく子供を叱るより、家族も友人も顔見知りさえ誰一人いない非日常生活を体感させることによって、自らの力で何かしら感じ気付いて欲しいと願っていました。帰宅した子供は他のお子さんのように旅の思い出の多くを語る事はしませんが、出発前とは明らかに何かが違うようです。
・物の溢れる時代、何の不自由もした事のない子供達が必死になって歩く姿をゴールで見ていて涙が出てしまいました。いつか壁にぶち当たっても大丈夫な子供達に成長すると思います

第8回おおさき100km徒歩の旅 ボランティア参加申込書

お名前 _____

TEL 0229 (22) 9480

FAX 0229 (21) 7724 連絡先（電話） _____

E-mail QRコード



E-mail / m31302001@yahoo.co.jp